

DENON[®]

DHT-S216

SOUND BAR

取扱説明書



付属品	4
乾電池の入れかた	5
リモコンの使いかた	5
特長	6
各部の名前	7
サウンドバー	7
リモコン	10

接続のしかた

設置する	12
サウンドバーを設置する	12
テレビを接続する	14
接続 1 : HDMI 端子付き/ARC 機能対応のテレビ	15
接続 2 : 光デジタル端子付き/ARC 機能非対応のテレビ	16
接続 3 : アナログ端子付き/ARC 機能非対応のテレビ	17
サブウーハーを接続する	18
HDMI 機器を接続する	19
電源コードを接続する	20

再生のしかた

テレビや映画、音楽を楽しむ	21
ステータス表示 LED について	22
Bluetooth 機器の音楽を聴く	23
はじめて Bluetooth 機器とペアリングする	23
2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする	24
ペアリングされた Bluetooth 機器の音楽を聴く	24

設定のしかた

設定のしかた	25
音量を調節する	25
サブウーハーの音量を調節する	25
リスニングモードを選ぶ	26
一時的に音を消す	27
クイックスタートモード	27
二重音声放送を切り替える	28
オートスタンバイ機能	28
音量制限機能	28
テレビのリモコンを使用して本機を操作する	29



困ったときは

故障かな？と思ったら	31
電源が入らない / 電源が切れる	32
リモコンで操作ができない	32
音がまったく出ない	33
Bluetooth 再生ができない	34
HDMI コントロール機能が動作しない	34
お買い上げ時の設定に戻す	35
保証と修理について	36

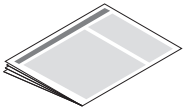
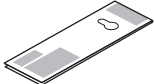
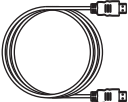
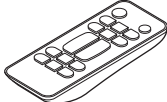
付録

HDMI について	38
登録商標について	39
主な仕様	40
使用上のご注意	43

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

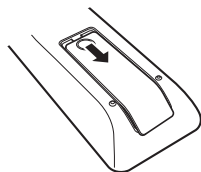
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

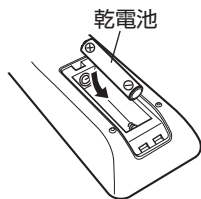
 かんたんスタートガイド	 安全にお使いいただくために	 電池使用上のご注意	 壁掛け用テンプレート	 電源コード 【本機専用】
 HDMIケーブル	 光デジタルケーブル	 壁掛け用スペーサー (2個)	 リモコン (RC-1236)	 単4形乾電池

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたを矢印の方向へ押し下げて取り外す。



- 2 乾電池(1本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



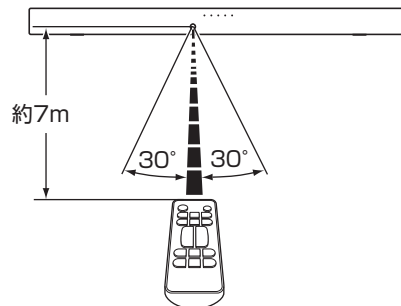
- 3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

- **本格的なシアターサウンド**

専用にチューニングされたフルレンジドライバーとツイーターに加えて、大口径のダウファイアリングサブウーハーを内蔵しています。本格的なシアターサウンドをお楽しみいただけます。

- **DTS Virtual:X に対応**

DTS Virtual:X 技術により高さ方向の表現力を加えることで、よりリアルなエンターテインメント空間をお楽しみいただけます。

- **ARC (Audio Return Channel)機能対応**

ご使用のテレビが HDMI ARC (Audio Return Channel)機能対応の場合、付属の HDMI ケーブル 1 本でサウンドバーと接続できます。また、テレビのリモコンを使用して本機をコントロールすることもできます。

- **ワイヤレスミュージックストリーミング再生**

スマートフォンのお気に入りの音楽を Bluetooth で簡単にストリーミング再生できます。

- **ダイアログエンハンサー機能搭載**

テレビ番組や映画のせりふを強調して聴きやすくします。全体の音量を調節することなく、明瞭さを向上させます。

ステレオ音のエチケット



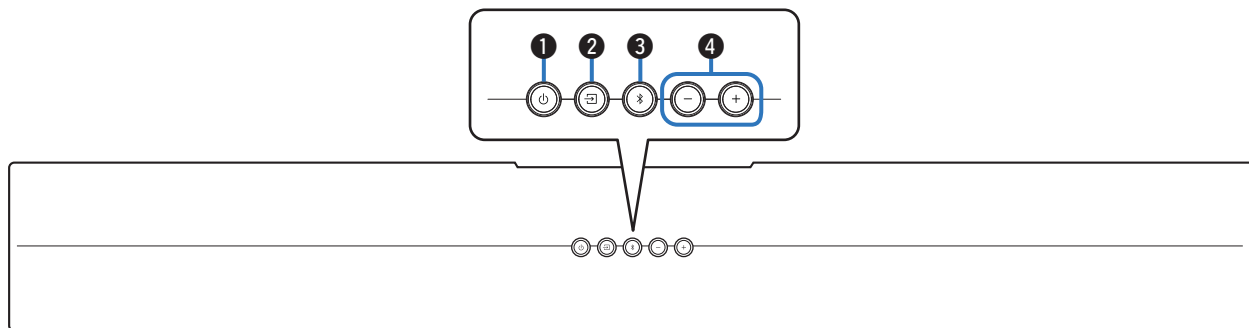
音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

各部の名前

サウンドバー

■ トップパネル



① 電源ボタン(⏻)

サウンドバーの電源がオン/オフ(スタンバイ)します。(P.21 ページ)

② 入力ソースボタン(□)

入力ソースを選択します。(P.21 ページ)

ボタンを押すたびに入力ソースが切り替わります。

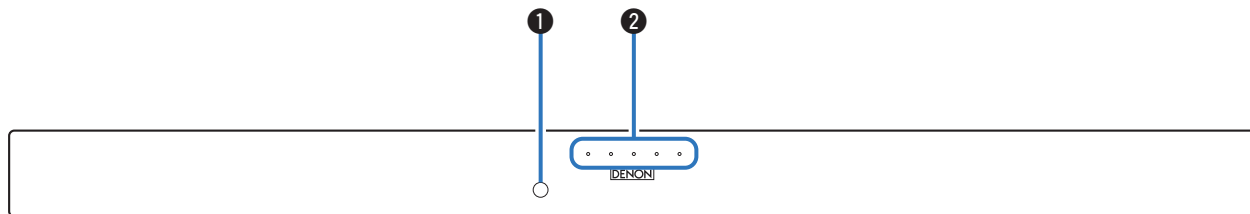
③ Bluetooth ボタン(ℵ)

- 入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。(P.23 ページ)
- Bluetooth 機器とペアリングするときに使用します。(P.23 ページ)

④ 音量ボタン(+, -)

音量を調節します。(P.25 ページ)

■ フロントパネル



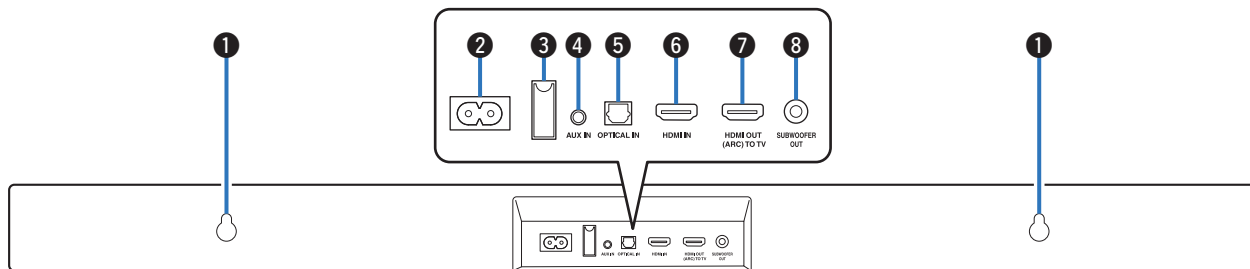
① リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.5 ページ)

② ステータス表示 LED

入力ソース・入力信号・音量などのステータスを表示します。
(P.22 ページ)

■ リアパネル



① 壁掛け用穴

サウンドバーを壁に取り付けるときに使用します。(P.13 ページ)

② AC インレット

付属の電源コードを接続します。(P.20 ページ)

③ USB 端子

サービス用の端子です。USB メモリーの再生には対応していません。

④ AUX 音声入力端子(AUX IN)

市販の 3.5mm ステレオオーディオケーブルを使用して、オーディオ機器を接続します。(P.17 ページ)

⑤ 光デジタル入力端子(OPTICAL IN)

付属の光デジタルケーブルを使用して、光デジタル端子付きのテレビを接続します。(P.16 ページ)

⑥ HDMI 入力端子(HDMI IN)

市販の HDMI ケーブルを使用して、HDMI 端子付きの機器を接続します。(P.19 ページ)

⑦ HDMI 出力端子(HDMI OUT(ARC) TO TV)

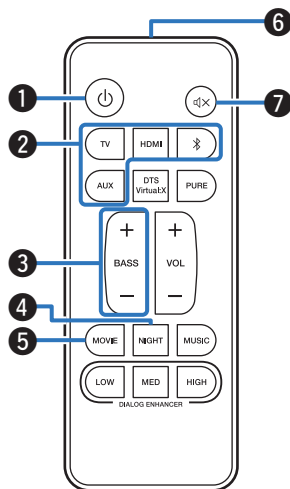
付属の HDMI ケーブルを使用して、ARC 機能対応のテレビを接続します。(P.15 ページ)

⑧ サブウーハー出力端子(SUBWOOFER OUT)

市販のサブウーハーケーブルを使用して、外付けのアンプ内蔵サブウーハーを接続します。(P.18 ページ)

リモコン

本書ではリモコンの操作を中心に説明しています。



① 電源ボタン(⏻)

サウンドバーの電源がオン/オフします。(📖 21 ページ)

② 入力ソースボタン(TV, HDMI, , AUX)

入力ソースを選択します。(📖 21 ページ)

③ サブウーハーレベル調節ボタン(BASS +, -)

サブウーハーの音量を調節します。(📖 25 ページ)

④ ナイトモードボタン(NIGHT)

小音量時にダイナミックレンジ(静かな音と大きな音のレベル差)を圧縮して聞きやすくします。(📖 26 ページ)

⑤ ムービーモードボタン(MOVIE)

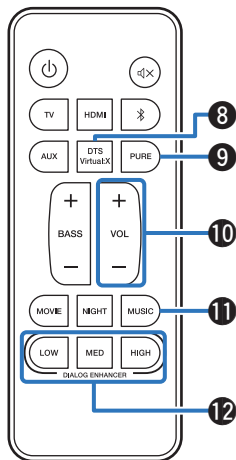
映画館のような臨場感あふれるサウンドをお楽しみいただけます。(📖 26 ページ)

⑥ リモコン信号送信窓

リモコンの信号を送信します。(📖 5 ページ)

⑦ ミュートボタン()

消音します。もう一度押すと、消音を解除します。(📖 27 ページ)
二重音声放送の主音声/副音声を切り替えます。(📖 28 ページ)



⑧ DTS Virtual:X ボタン

DTS Virtual:X 機能のオン/オフを設定します。(🔧 26 ページ)



- リスニングモードが“PURE”のとき、DTS Virtual:X 機能ははたらきません。

⑨ ピュアモードボタン(PURE)

原音に忠実な高音質サウンドをお楽しみいただけます。(🔧 26 ページ)

⑩ 音量ボタン(VOL +, -)

音量を調節します。(🔧 25 ページ)

⑪ ミュージックモードボタン(MUSIC)

コンサートホールのような臨場感あふれるサウンドをお楽しみいただけます。(🔧 26 ページ)

⑫ ダイアログエンハンサーボタン (DIALOG ENHANCER LOW, MED, HIGH)

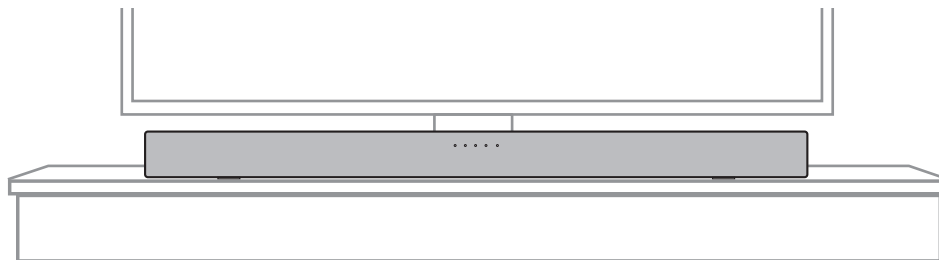
映画のせりふや音楽のボーカルの音量を調節して聴きやすくします。(🔧 26 ページ)

3 段階で設定できます。お好みで設定してください。

設置する

サウンドバーを設置する

サウンドバーをテレビの前など平らな場所に設置します。



ご注意

- サウンドバーをテレビの前に設置する場合、サウンドバーがテレビのリモコン受光部などを遮らないようにご注意ください。

■ サウンドバーを壁に掛けてご使用になる場合

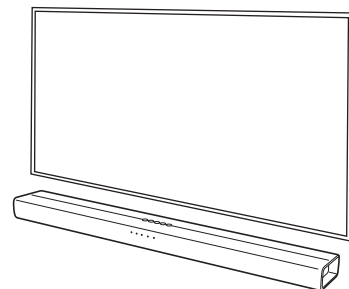
サウンドバーは壁掛け用穴を使用して壁掛けすることができます。壁に掛けてご使用になる場合は、平らで垂直な場所に設置してください。



- 壁に掛けてご使用になる場合は、付属の壁掛け用テンプレートを 사용하여ください。

【壁掛け用テンプレートの使いかた】

- ① サウンドバーを取り付ける位置にテンプレートを貼り付ける。
- ② テンプレートに従って壁掛け用ねじを取り付ける。
壁掛け用ねじは、壁の材質や強度に合ったものを専門施工業者にご相談ください。
- ③ 壁からテンプレートを取り外す。
- ④ 接続コードや電源コードを接続する。
接続コードや電源コードを束ねるため、サウンドバー背面に付属の壁掛け用スペーサーを取り付けてください。
- ⑤ サウンドバーを壁に取り付ける。



ご注意

- 壁への取り付けは、安全性確保のために専門施工業者へ依頼してください。
- 安全にお使いいただくため、本体の上に物をのせたり物をぶら下げたりしないでください。
- 接続ケーブルを足や手に引っ掛けて本機を落下させることがないように必ず壁などに固定してください。取り付け後は必ず安全性を確認してください。
- また、定期的な落下の可能性がないか安全点検をおこなってください。
- 取り付け場所や取り付け方法の不備による損害・事故において、当社は一切その責任を負いません。

テレビを接続する

接続方法は、テレビに装備されている端子や機能により異なります。



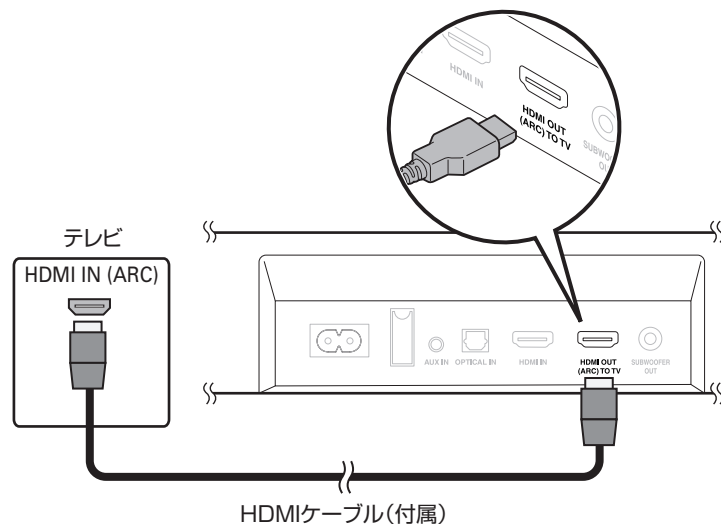
- HDMI ケーブルを使用して本機とテレビを接続する場合は、テレビの HDMI コントロール機能を有効にしてください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。)
- HDMI ケーブルを使用して接続することをおすすめしますが、HDMI ケーブルを使用せずに接続することもできます。

ご注意

- 接続するときは、各機器の電源を切ってください。
- すべての機器の接続が完了するまで、各機器の電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

接続 1: HDMI 端子付き/ARC 機能対応のテレビ

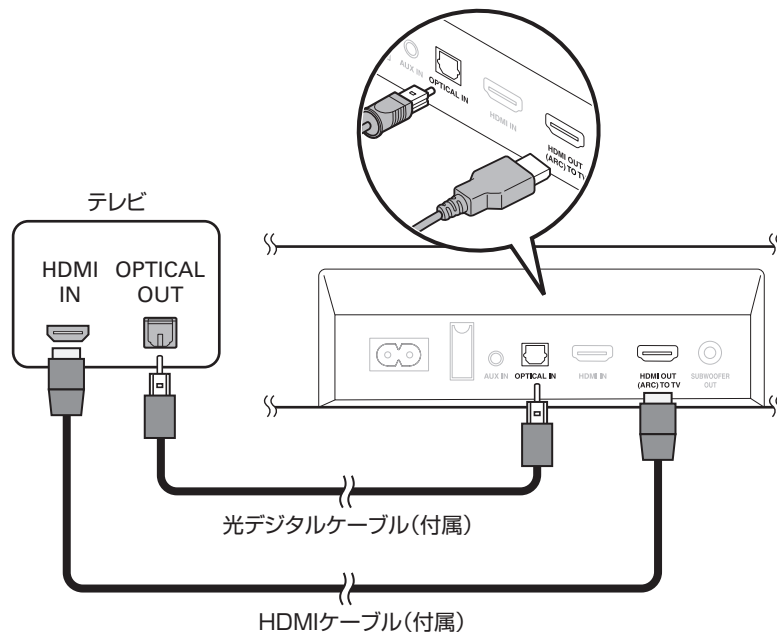
付属の HDMI ケーブルを使用して、本機と ARC 機能対応のテレビを接続します。



- テレビも ARC 機能に対応している必要があります。

接続2:光デジタル端子付き/ARC 機能非対応のテレビ

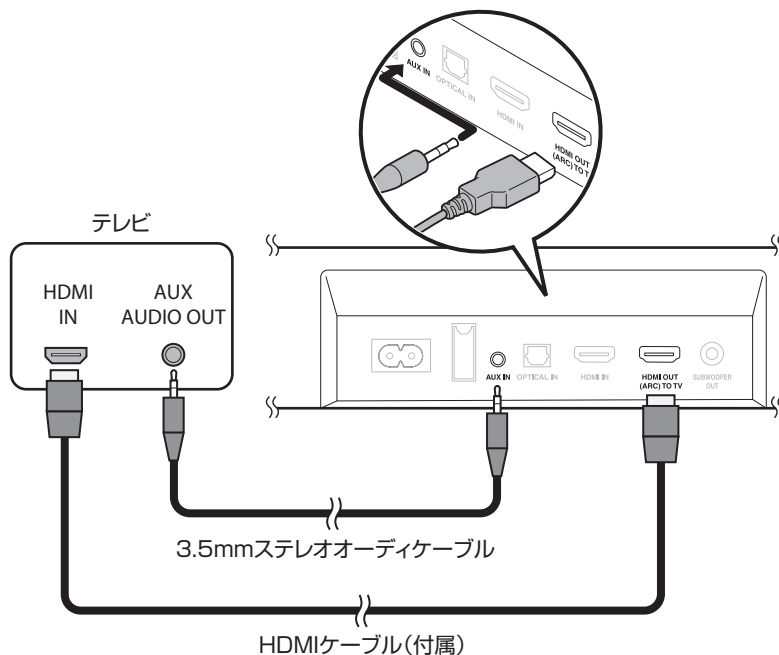
付属の HDMI ケーブルと光デジタルケーブルを使用して、本機とテレビを接続します。



- 光デジタルケーブルは、端子の形状に合わせて差し込んでください。
- テレビのスピーカー設定をオフにするか音量を最小にしてください。

接続 3: アナログ端子付き/ARC 機能非対応のテレビ

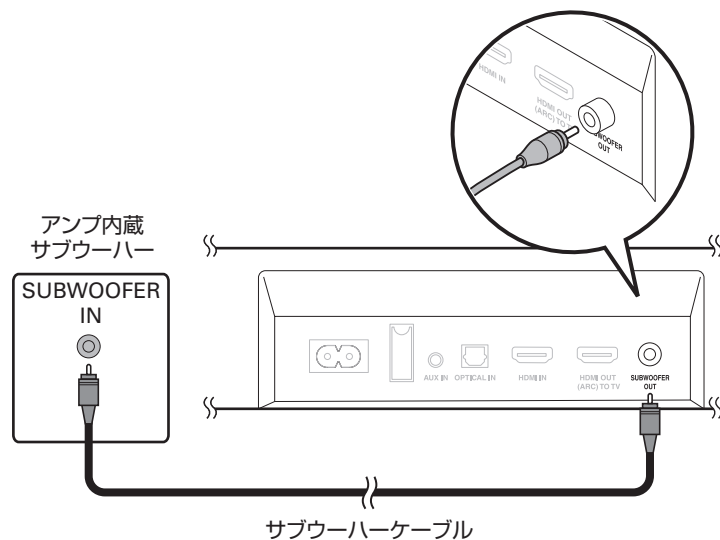
付属の HDMI ケーブルと市販の 3.5mm ステレオオーディオケーブルを使用して、本機とテレビを接続します。



- テレビのスピーカー設定をオフにするか音量を最小にしてください。

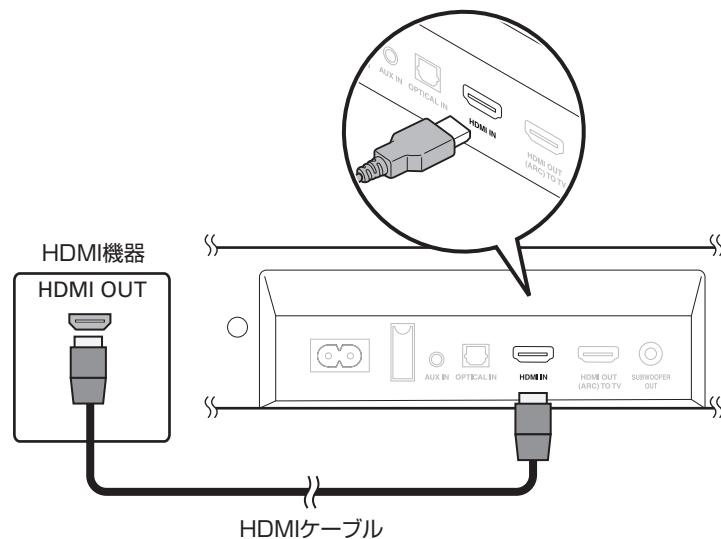
サブウーハーを接続する

本機はサブウーハーを内蔵していますが、より重低音を効かせたいときに外付けのアンプ内蔵サブウーハーを接続できます。市販のサブウーハーケーブルを使用して、本機と外付けのアンプ内蔵サブウーハーを接続します。



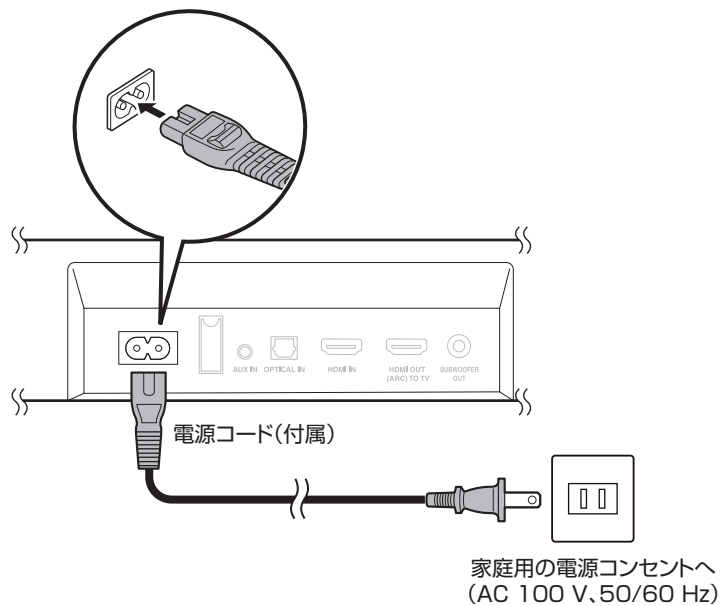
HDMI 機器を接続する

市販の HDMI ケーブルを使用して、本機にブルーレイディスクプレーヤーやゲーム機などを接続します。

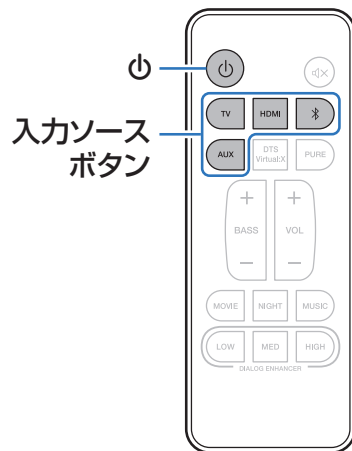


電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



テレビや映画、音楽を楽しむ



- 1 テレビや接続した機器の電源を入れる。
- 2 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 3 入力ソースボタンを押して、入力ソースを切り替える。
- 4 本機に接続した機器を再生する。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。



- HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールすることができます。(P.38 ページ)

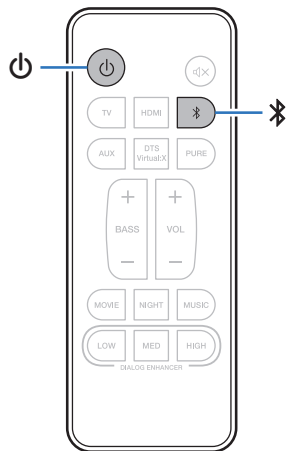
ステータス表示LEDについて

サウンドバーの前面のLEDは、音量や入力ソース、リスニングモードなどのステータスを表示します。

.....					
電源	オフ（スタンバイ）	○	○	○	○
	オン	○	○	○	○
入力ソース	HDMI	○	○	○	○
	TV (ARC)	○	○	○	○
	TV (OPT)	○	○	○	○
	ANALOG	○	○	○	○
	Bluetooth	○	○	○	●
音声フォーマット 【例】入力ソース： TV (ARC)	Dolby	●	●	○	○
	DTS	●	●	○	○
	AAC	●	●	○	○

Bluetooth 機器の音楽を聴く

スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。



はじめて Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 Bluetooth ボタンを押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。
はじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになります。
ペアリングモード中は、ステータス表示 LED が青色で点滅します。
- 3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
- 4 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧の中から、“DHT-S216”を選ぶ。
ステータス表示 LED が青色に点灯し、本機と Bluetooth 機器がペアリングされます。

2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 電源ボタンを押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。
- 3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
- 4 ステータス表示 LED が青色で点滅するまで、本機の電源ボタンを押す。
- 5 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧の中から、“DHT-S216”を選ぶ。
ステータス表示 LED が青色に点灯し、本機と Bluetooth 機器がペアリングされます。



- 本機は最大 8 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。9 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。

ペアリングされた Bluetooth 機器の音楽を聴く

- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 電源ボタンを押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。
- 3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
ステータス表示 LED が青色に点灯し、前回接続していた Bluetooth 機器に接続します。接続が途切れた場合は、再度接続してください。
- 4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

設定のしかた

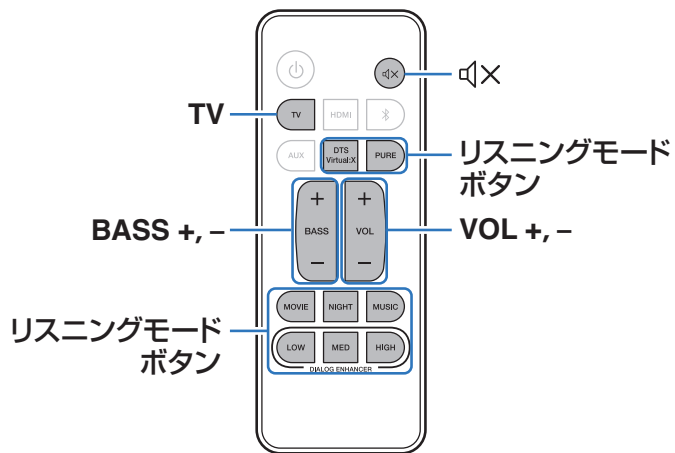
以降の操作および設定は、必要に応じておこなってください。

音量を調節する

- VOL + または VOL - を押して、音量を調節する。**
ボタンを押すと、ステータス表示 LED が音量表示に切り替わります。
ボタンを押すたびに音量 LED が点滅し、音量に合わせて点滅する LED の数が増減します。
音量が最大または最小に達すると、音量 LED が 3 回点滅します。

サブウーハーの音量を調節する

- BASS + または BASS - を押して、サブウーハーの音量を調節する。**
サブウーハーの音量に合わせて点滅する LED の数が増減します。
サブウーハーの音量が最大または最小に達すると、音量 LED が 3 回点滅します。



リスニングモードを選ぶ

1 リスニングモードボタンを押して、リスニングモードを選ぶ。

ボタンを押すと、ステータス表示 LED の右端の LED が点滅してリスニングモードが切り替わります。

MOVIE (お買い上げ時の設定):	映画館のような臨場感あふれるサウンドがお楽しみいただけます。
MUSIC:	コンサートホールのような臨場感あふれるサウンドをお楽しみいただけます。
NIGHT:	小音量時にダイナミックレンジ(静かな音と大きな音のレベル差)を圧縮して聞きやすくします。
DIALOG ENHANCER LOW / MED / HIGH:	映画のせりふや音楽のボーカルの音量を調節して聴きやすくします。3 段階で設定できます。お好みで設定してください。
PURE:	原音に忠実なサウンドをお楽しみいただけます。

2 お好みにより DTS Virtual: X を押して、現在のリスニングモードに高さ方向のサラウンド効果を加える。 ボタンを押すと、ステータス表示 LED の右端の LED が青色に点灯します。

DTS Virtual:X:

前方・左右・後方に加えて高さ方向も再現したバーチャル 3D サラウンド再生をお楽しみいただけます。



- リスニングモードが“PURE”のとき、DTS Virtual:X 機能ははたらきません。
- リスニングモードを“MOVIE”や“MUSIC”などに切り替えてから DTS Virtual:X をお楽しみください。



一時的に音を消す

- 1 ㊦を押す。
すべてのステータス表示 LED が点滅します。



- 解除するときは、もう一度 ㊦ を押してください。

クイックスタートモード

本機をクイックスタートモードに設定すると、次の2つの機能が有効なスタンバイ状態になります。

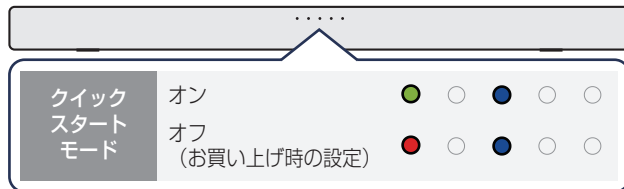
■ Bluetooth スタンバイ機能

本機がスタンバイ状態のときでも Bluetooth 機器から本機に接続することができます。接続すると本機の電源がオンになります。

■ HDMI パススルー機能

本機がスタンバイ状態のときでも本機に入力された HDMI 信号をテレビに出力します。

- 1 次のようにステータス表示 LED が点滅するまで、TV を 5 秒以上押し続ける。



- クイックスタートモードがオンのときは、通常よりも多くの電力を消費します。

二重音声放送を切り替える

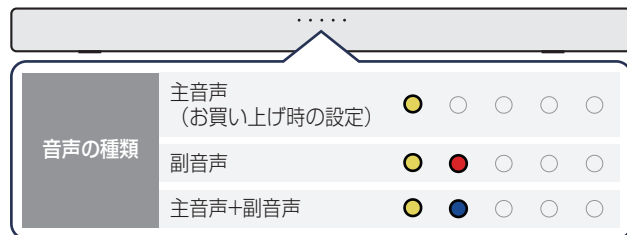
二重音声信号を含む放送の音声切り替えます。

1 音量を 5 秒以上押し続ける。

入力ソース表示 LED の右側に音声の種類を表示する LED が点灯します。

- 消灯: 主音声
- 赤色: 副音声
- 青色: 主音声+副音声

【例】入力ソースが“HDMI”の場合



オートスタンバイ機能

約 15 分以上操作がなく音声出力が無い場合、本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。

1 次のようにステータス表示 LED が点滅するまで、NIGHT を 5 秒以上押し続ける。



音量制限機能

本機の電源をオンにすると、前回スタンバイにしたときに設定されていた音量になります。しかし、前回大きな音量でご使用の場合は一定のレベルまで下げた音量になります。

テレビのリモコンを使用して本機を操作する

テレビのリモコンを使用して本機を操作する方法は、次の 2 とおりです。

• HDMI コントロール機能

本機と HDMI コントロール機能対応のテレビを HDMI ケーブルで接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、テレビのリモコンで本機の基本操作(入力ソース切り替え、電源オン/オフ、音量調節)をおこなうことができます。

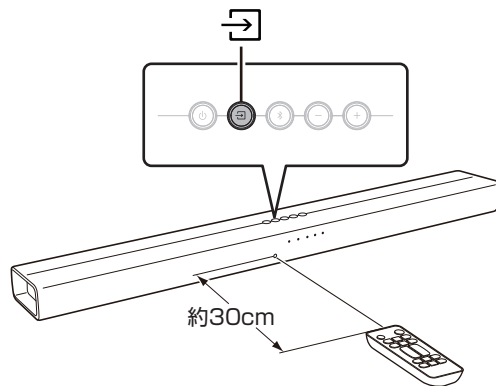
HDMI コントロール機能については、「HDMI コントロール機能」をご覧ください。(P.38 ページ)

• リモコン学習機能

お使いのテレビが HDMI コントロール機能に対応していない場合は、本機のリモコン学習機能を使用してください。テレビのリモコンで本機の操作をおこなうことができます。(**リモコン学習機能を使用する**) (P.29 ページ))

■ リモコン学習機能を使用する

- 1 白色のステータス表示 LED が左右に往復表示をするまで、本体の  を 3 秒以上押し続ける。
- 2 学習させたい本機のリモコンボタン(例:VOL +)を、本機のリモコン受光部に向けて 1 回押す。
すべてのステータス表示 LED が白色で点滅します。



3 学習させたいテレビのリモコンボタン(例:音量アップ)を、本機のリモコン受光部に向けて1回押す。

学習に成功すると、右端のステータス表示LEDが青色で3回点滅します。

学習に失敗した場合は、右端のステータス表示LEDが赤色で3回点滅します。手順2、3を再度おこなってください。



- 再びすべてのステータス表示LEDが白色で点滅したときは、もう一度テレビのリモコンボタン(例:音量アップ)を押してください。

4 続けて学習させたい場合は、手順2、3をくり返す。

5 右端のステータス表示LEDが白色で3回点滅するまで、本体の を3秒以上押し続ける。

リモコン学習モードを終了します。

6 テレビのリモコンで本機の操作(例:音量を上げる)ができることを確認する。



- 学習させたデータを消去する場合は、右端のステータス表示LEDが白色で5回点滅するまで本体の  を10秒間押し続けてください。
- Bluetoothスタンバイ機能やHDMIパススルー機能の設定をオフにしているときのスタンバイ中は、リモコン学習機能で学習したリモコンの操作を受け付けません。
- リモコン学習モードのときは他の操作はできません。
- テレビのリモコンによっては学習できない場合があります。
- クイックスタートモードがオフのときは、リモコン学習機能で学習したテレビの電源ボタンの操作を受け付けません。

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 他の機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もしお買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.20 ページ)
- テレビの HDMI コントロール機能で本機の電源が入らないときは、 ボタンを押して本機の電源を入れてください。(P.38 ページ)
- Bluetooth 接続で電源が入らないときは、Bluetooth スタンバイ機能をオンにしてください。(P.27 ページ)

電源が自動的に切れる。

- 約 15 分以上操作がなく音声出力が無い場合、本機の電源が自動的にスタンバイ状態になります。(オートスタンバイ機能)(P.28 ページ)

リモコンで操作ができない

リモコンで操作できない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.5 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.5 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の  と  を正しくセットしてください。(P.5 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。

音がまったく出ない

音がまったく出ない

- すべての機器の接続を確認してください。(P.12 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(P.21 ページ)
- 音量を適切な大きさに調節してください。(P.25 ページ)
- 消音している場合は、消音を解除してください。(P.27 ページ)
- テレビや外部機器のデジタル音声出力の音声フォーマットの設定を、本機で音声を出力できる音声フォーマット(PCM など)に切り替えてください。

Bluetooth 再生ができない

Bluetooth 機器とペアリングできない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 設定が有効になっていない可能性があります。Bluetooth 機器の取扱説明書を参照し、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機が他の Bluetooth 機器とペアリングしている可能性があります。Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧から本機を選択してください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してからお試しください。
- 同時に接続できる Bluetooth 機器は 1 台です。

音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth 機器と再度ペアリングしてください。(P.23 ページ)

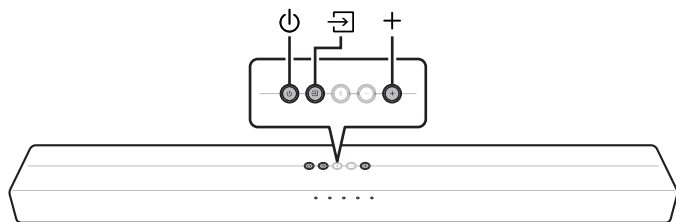
HDMI コントロール機能が動作しない

HDMI コントロール機能が動作しない

- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。
- 本機に接続しているすべての機器の HDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。

お買い上げ時の設定に戻す

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をおこなってください。



- 1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 本機の電源が入っているときに、サウンドバーの電源ボタン、リセットボタンと+を5秒以上押し続ける。
ステータス表示 LED が3回赤色で点滅します。
- 3 LED 消灯後10秒以上経ってから電源ボタンを押す。
サウンドバーが再起動した後、すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

保証と修理について

■ 保証書について

- 保証書は、付属の「かんたんスタートガイド」に収録しています。

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……製品に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

HDMI について

本機は次の HDMI 機能に対応しています。

- **ARC(Audio Return Channel)機能**

ARC 機能対応のテレビと本機を HDMI 接続するだけで、テレビの映像や音声を楽しめます。

- **HDMI コントロール機能**

HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールすることができます。

- 入力ソースの切り替え

テレビの電源をオンにすると、自動的に本機の電源もオンになり、本機の入力ソースが切り替わります。

- 電源オフ連動

テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源もオフになります。

- 音量調節

テレビのリモコンを使用して、本機の音量を調節できます。

- 音声出力先の切り替え

本機の電源がオンになると、テレビの音声は本機から出力されます。本機の電源がオフになると、テレビの音声はテレビのスピーカーから出力されます。

ご注意

- 接続しているテレビによっては、動作しない機能があります。あらかじめ各機器の取扱説明書をご覧ください。

登録商標について



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby, Dolby Audio およびダブルD 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS の特許については、<http://patents.dts.com> をご覧ください。
DTS、シンボル、DTS およびシンボルとの組み合わせ、Digital Surround、Virtual:X、DTS Digital Surround および DTS Virtual:X ロゴは、米国および/またはその他の国における商標または DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. 版權所有。



HDMI、High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

主な仕様

■ 総合

動作温度:	5° C~35° C
電源:	AC 100V、50/60Hz
消費電力:	40W
スタンバイ時の消費電力:	0.45W
クイックスタートモード時の消費電力:	5.0W
サンプリング周波数:	32kHz、44.1kHz、48kHz
音声フォーマット:	ドルビーデジタル、DTS デジタルサラウンド、リニア PCM、AAC

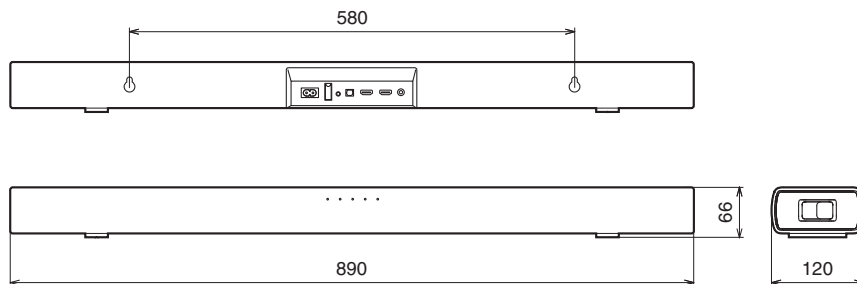
■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 4.2
送信出力	Power Class 2
最大通信範囲:	見通し距離 約 10m *
使用周波数帯域:	2.4GHz 帯域
変調方式:	FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル:	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.3 AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) 1.6
対応コーデック:	SBC
伝送範囲(A2DP):	20Hz~20,000Hz

* 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:3.5kg

使用上のご注意

■ 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

■ お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ペンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

■ 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 **0570 (666) 112 または
050 (3388) 6801**

FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 10:00～18:00
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- お問い合わせをいただく前に、ホームページの FAQ をご確認ください。
<http://denon.jp/jp/html/faq.html>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://denon.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 **0570 (666) 811**

- 受付時間 9:30～12:00、13:00～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

■ 上記番号がご利用いただけない場合  **0466 (86) 9520**

- 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://denon.jp/jp/html/service.html>

■ 代表修理窓口

首都圏サービスセンター

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2010-16

FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。お持ち込み頂いても受け取ることができませんのでご了承ください。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1 D&M ビル

3520 10721 00ADB

Copyright © 2019 D&M Holdings Inc. All Rights Reserved.